

科目区分	専門基礎分野			科目番号	0303	曜日時間	月曜日
授業科目	解剖生理学Ⅲ						
単位数	1 単位	時間	30 時間	開講時期	1年次通年	授業形態	講義
担当教員	菱川 善隆 ・ 専任教員						
授業目的	「息をする」「恒常性維持の物の流れ」の人体の正常な形態と構造、およびそれぞれの役割とはたらきについて学ぶ。						
授業目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>日常生活行動の「息をする」の身体機能で、酸素の取り込み、需要・供給における呼吸の構造とはたらきを学び、生命維持における呼吸の意義が分かる。</li> <li>身体内部の「恒常性維持の物の流れ」で、循環の構造とはたらきを学び、生命維持における循環の意義が分かる。</li> <li>身体の内部環境の物質の運搬を司る血液、造血や止血の機能を学び、生命維持における血液の役割やはたらきが分かる。</li> </ol>						
授業の内容と方法	回	授業内容	授業方法	時間	担当	備考	
	15	「息をする」の機能（呼吸と血液） A 呼吸器の構造  B 呼吸 身体構造  はたらきとしくみ 酸塩基平衡  C 血液  酸素と物質運搬  「恒常性維持の物の流れ」の機能 （血液の循環と調節） A 循環器系の構成  B 心臓の構造 心臓の血管と神経  C 心臓の拍出機能 心電図と不整脈  前負荷後負荷・心雑音  D 末梢循環系の構造 動脈と静脈  E 血液の循環の調節 血圧・循環器系の病態生理  F リンパとリンパ管	講義	30	菱川 善隆 ・ 専任教員		
終了後課題							
評価計画方法	筆記試験・授業態度						
テキスト参考図書	坂井 建雄ほか：系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能[1] 解剖生理学【電子版】，医学書院 坂井 建雄ほか：解剖生理学ワークブック「系統看護学講座」準拠 佐藤達夫著：からだの地図帳，講談社						
実務歴有	医師						
講義への反映	臨床経験を活かし、解剖学を教授する。						
備考	基礎看護技術Ⅴと連動させ学習する。（フィジカルアセスメント）						